

水耕ネギの培地廃棄量ゼロと省力・多収・低コスト栽培技術

先端技術を活用した農林水産研究高度化事業（課題番号1629，平成16年度～18年度）
共同研究機関：県立農業技術センター・県立東部工業技術センター・国立大学法人高知大学・株式会社あべダンボール【KIT21】

問題点

- ウレタン培地が蓄積されます。
4.4m³/10a/年（6作）
- 通路を移動しながら1株ずつ定植・収穫作業を行うため、前傾姿勢が続きます。



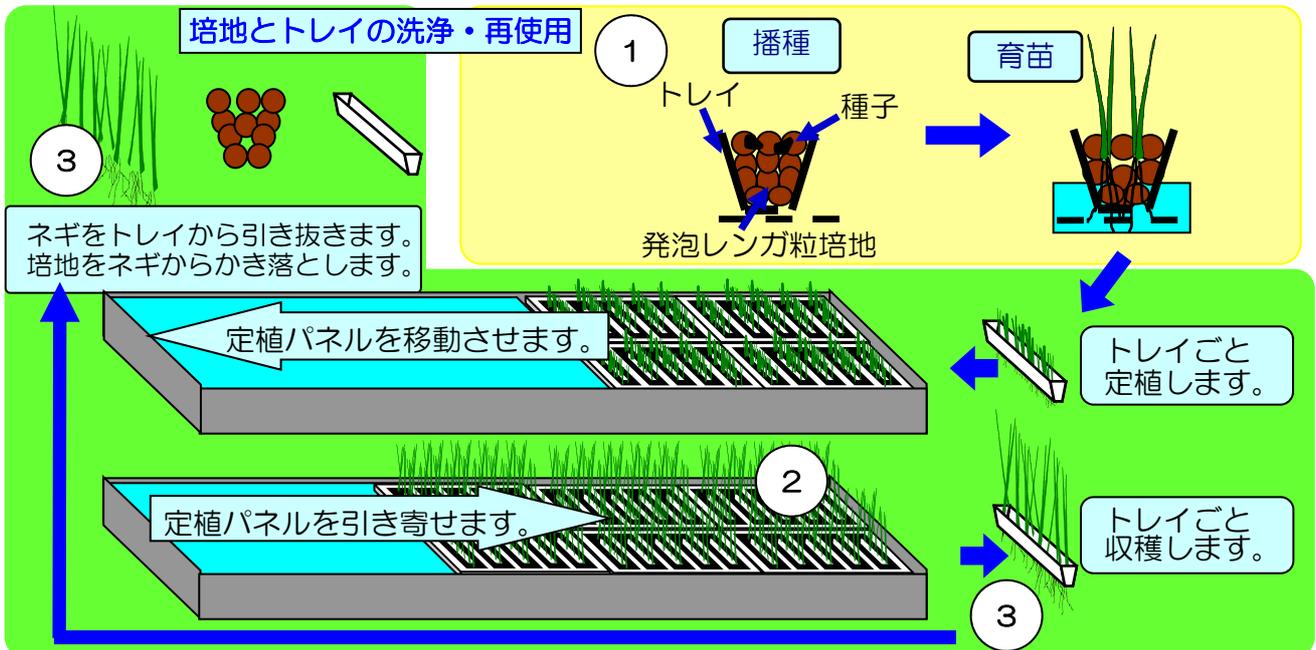
ウレタン培地と廃棄残さ



ウレタン培地ごと1ブロックずつちぎって定植穴に定植し、培地ごと収穫

研究概要

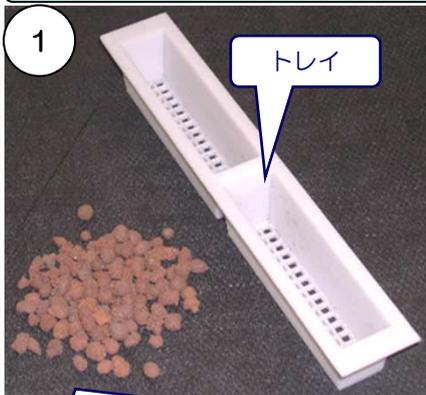
培地廃棄量ゼロと省力・低コスト化を目指す育苗法の開発



人間工学に基づいた栽培管理器具（定植パネル連結器具・倒伏防止器具・収穫作業台）の開発

栽植密度と栽培環境の最適化（CO₂施用法・養液管理法）による多収技術の開発

トレイと培地並びに栽培状況と収穫作業の様子



培地は、粒径4～8mmの発泡レンガ粒



収穫間近の様子



収穫作業台を用いた収穫・調製作業の様子